

学 習 計 画

(学年 1年 ) (科目名 数学 I )

学 期	学 習 項 目	学 習 内 容 ・ 方 法
1	1章 数と式  1節 式の計算  2節 実数  3節 1次不等式  3章 2次関数  1節 2次関数とそのグラフ  2節 2次方程式と2次不等式	<p>数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。</p> <p>また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>集合に関する基本的な概念を理解する。また乗法公式と因数分解の関係性を理解する。</p> <p>根号の意味を理解し、無理数と有理数の相違点を把握し、基本的な公式を理解する。</p> <p>1次方程式・1次不等式の学習から、2次方程式を因数分解や解の公式を用いる解き方を理解する。</p> <p>2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>事象から2次関数で表される関係を見出し、グラフの特徴について、理解する。</p> <p>2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めることを理解し、事象の最適な場合を見出せるようにする。</p>
2	4章 図形と計量  1節 鋭角の三角比  2節 三角比の拡張  2章 集合と論証  1節 集合  2節 命題と論証	<p>三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>鋭角の三角比の意味と正弦・余弦・正接の相互関係を理解できるようにする。</p> <p>三角形の面積や正弦定理・余弦定理を理解し、さまざまな値を求められるようにする。</p> <p>2つの集合の包含関係からベン図をつくり、ものの集まりについて理解する。</p> <p>部分集合・全体集合・補集合について基本事項を理解する。</p> <p>また必要条件と十分条件の関係や命題の真偽について学習する。</p>
3	5章 データの分析  1節 データの整理と分析	<p>統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。</p> <p>データの整理のしかたや特徴・傾向を表す方法を学ぶ。</p> <p>データの特徴を代表値で表せるようにする。</p> <p>散らばりぐあいを表す四分位数や箱ひげ図・四分位偏差・分散・標準偏差などの意味について理解し、データの傾向を把握する。</p> <p>散布図や相関係数の意味を理解し、二つのデータの相関を把握し、さまざまな事象を統計学的に分析し、解決できるようにする。</p>